



脳神経外科診療のご案内



2026 年 1 月から脳神経外科診療を始めました。局麻でできる慢性硬膜下血腫の手術を開始し、救急外来での治療や脳神経外科外来を行っています。

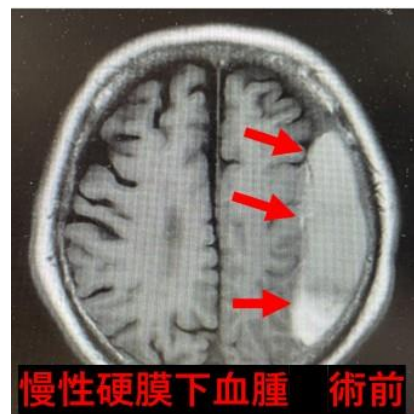
当院脳神経外科は石川がすべて担当いたします。慶應義塾大学卒業後、関連病院にて研修・ドイツとアメリカ留学・関連病院部長・自治医科大学准教授を経て、脳神経外科学会専門医、脳卒中の外科学会指導医、内分泌代謝学会専門医（脳神経外科）、臨床神経生理学専門医、神経内視鏡学会認定医、脳ドック学会認定医です。穂高出身の石川があづみ病院に着任し、脳神経外科全般を担当しています。

脳神経外科疾患について、手術適応と術後の経過を考慮した上で、いま行うべき検査と必要な治療を行います。当院では難しい脳神経外科治療（長時間の顕微鏡手術・血管内手術・高精度定位放射線治療など）が必要な場合には、現在治療可能な病院を紹介させていただきます。脳神経外科患者さんの目安は以下の通りですが、先生方が、脳神経外科受診が良いと思われた患者さんは、ご紹介いただければ診察させていただきます。

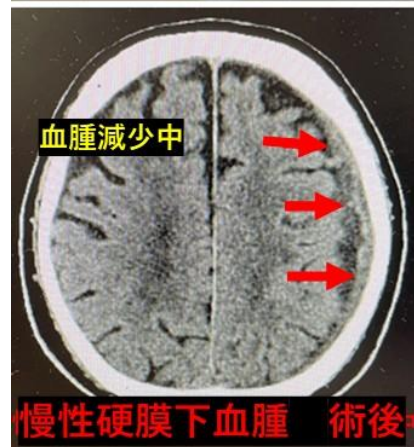
1. **頭部外傷**の患者さん、どうもぼっとしているとか、頭部の挫創が大きくて処置がたいへんなど。外傷後数か月経過後の慢性硬膜下血腫（どうもふらつくとか、なんか反応が変など）。
2. **水頭症** 3 症候（歩行障害・認知機能低下・尿失禁）がすべてそろわなくても、疑われる患者さん。
3. **脳腫瘍** 運動麻痺・構音障害・失語症など神経症状が少しずつ進行した場合、眼科で頭蓋内病変を疑う患者さん、治りにくい難聴の頭蓋内精査。
4. **突然の頭痛と嘔気嘔吐** 脳動脈瘤が破裂して発症するクモ膜下出血は出血時から始まる突然の強い頭痛が特徴です。かならずしも典型的な症状でない場合もあり、強い頭痛で心配な患者さんや頭痛は治ってきたけどぼっとしている患者さんなど、また、**脳梗塞や脳出血**が疑われる患者さんも対応します。
5. **片側顔面けいれん** 片側の目からはじまる顔面のぴくつき。
6. **三叉神経痛** 何か食べたり、顔をあらったりする刺激で顔の表面や口の中がズキンと強い痛み。歯科で三叉神経痛が疑われた患者さん。
7. **神経症状がない貴院ご通院の患者さん**が、上記脳神経疾患が心配な場合には、当院脳ドックで対応可能です。（脳神経外科部長 石川眞実）



脳神経外科部長
石川 眞実 医師



慢性硬膜下血腫 術前



血腫減少中
慢性硬膜下血腫 術後

脳神経外科外来

【午前】月～金 8：45～9：45 【午後】火・木 14：00～

【受付時間】7：30～16：00

※ 医師都合で急な休診が入る場合がありますのでお問い合わせください

『病診連携登録医募集のご案内』（地域の医療機関の先生方へ）

当院では、患者さんを中心とした地域医療を円滑に推進するため、地域の医療機関の先生方のご支援・ご協力をいただきながら、地域医療連携をさらに充実・発展・密なものとするべく『病診連携登録制度』を設けております。詳しくは、地域医療連携課へお気軽にお問い合わせください。

患者さんのご紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております



北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携課

TEL（直通）0261-61-1455 FAX（直通）0261-61-1456

E-mail renkei@azumi-ghp.jp

受付時間 平日 8 時 30 分～17 時 00 分 土曜日 8 時 30 分～12 時 30 分（診療日に限ります）

※ 上記受付時間を過ぎますと電話は夜間休日窓口へ転送されます

連携課だより

2026 年 8 月発行

JA 長野厚生連

北アルプス医療センターあづみ病院

〒399-8695

北安曇郡池田町大字池田 3207-1

編集発行／地域医療連携課

TEL 0261-61-1455

FAX 0261-61-1456

北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携広報誌

連携課だより

北アルプス医療センターあづみ病院 理念

質の高い医療と社会への貢献をとおり、地域の皆さまから信頼される病院を築きます。

CONTENTS

- ・ 新任医師紹介
- ・ 第 67 回あづみ病院地域連携懇話会
- ・ 脳神経外科診療のご案内



JA 長野厚生連

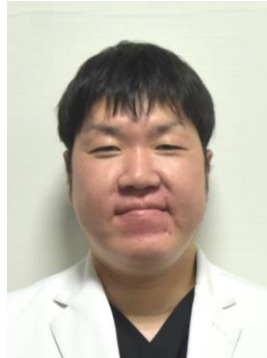
北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

87
August 2026

新任医師紹介



2026 年 7 月より 3 名の医師が着任いたしました。地域の関係機関の皆さまにはこれから大変お世話になります。患者さんを丁寧に診させていただきますので、お気軽にご紹介ください。



小田切 優也

(ことぎり ゆうや)

整形外科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 佐賀大学 (2017 年 3 月卒)
- ◆ 日本整形外科学会整形外科専門医
- ◆ 日本整形外科学会
- ◆ 日本肩関節学会

◆ 7 月 1 日から整形外科に勤務します小田切優也と申します。あづみ病院には 1 年前まで 3 年間お世話になっており、色々な事を学ばせていただきました。これほど早く戻ってこれると思っていなかったで、嬉しく思っています。趣味は釣りと野球です。整形外科全般ならびに肩関節疾患を中心に、地域の皆様のお役に立てるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



川上 拡

(かわかみ ひろむ)

整形外科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 新潟大学 (2018 年 3 月卒)
- ◆ 日本整形外科学会整形外科専門医
- ◆ 日本整形外科学会
- ◆ 日本肩関節学会
- ◆ 中部日本整形外科災害外科学会
- ◆ 日本リハビリテーション医学会
- ◆ 日本関節病学会

◆ 7 月より赴任しました整形外科の川上と申します。趣味はスノーボード、登山で山が好きです。出身は松本市ですので幼い頃から北アルプスの山々を遠目に見ていましたが、池田町では綺麗な山々を間近に見ることができ、とても良い気分です。大北地域の医療に貢献できるよう頑張る中で、多くを学ばせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



勝野 麻里

(かつの まり)

呼吸器外科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 新潟大学 (2019 年 3 月卒)
- ◆ 日本外科学会
- ◆ 日本臨床外科学会
- ◆ 日本呼吸器外科学会
- ◆ 日本肺癌学会
- ◆ 日本外科教育学会

◆ 7 月より呼吸器外科医として勤務することになりました。2023 年、産後半年だけ外科専攻医としてお世話になりました。父が池田町出身であり、この地域は幼少期からよく遊びにきた場所のため、沢山の思い出のある場所です。馴染み深い地で医療に関わることができ大変光栄に思います。地域医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。

第 67 回 地域連携懇話会

2026 年 6 月 20 日 14:00 開催
あづみ病院 7F やまなみホール

「コンディショニングの基盤：バンクーバーからミラノまでの 20 年を、スポーツ外来の日常へ」

講師：MD Sports Support 代表／当院整形外科非常勤医師 村上 成道 医師



2026 年 6 月 20 日、当院肩関節治療センターと地域連携懇話会運営委員会主催による第 67 回あづみ病院地域連携懇話会を開催しました。当日は院内外から多くの関係者の皆様にご参加いただきました。

今回のテーマは、「コンディショニングの基盤：バンクーバーからミラノまでの 20 年を、スポーツ外来の日常へ」です。講師には、MD Sports Support 代表であり、当院整形外科非常勤医師として肩関節診療およびスポーツ障害診療に携わる村上成道先生をお迎えしました。村上先生には、トップアスリートへの長年にわたるサポート経験と、そこで得られた知見を日常診療へ生かす取り組みについてご講演いただきました。

講演では、バンクーバーオリンピックからミラノ・コルティナオリンピックまでの 20 年間における国際大会でのコンディショニング戦略の変遷や、実際のサポート事例が紹介されました。また、こうした取り組みはトップアスリートのみならず、スポーツ外来を受診する学生アスリートや一般の患者さんの治療、さらにはパフォーマンス向上にも幅広く応用できる可能性が示されました。一方で、限られた診療時間や設備の中で、これらの考え方をいかに実践に落とし込んでいくかについても、具体例を交えながら解説いただきました。

講演後には活発な質疑応答が行われ、参加者からは日常診療に直結する具体的なアプローチについて多くの質問が寄せられました。トップアスリートのコンディショニングに関する知見を日常診療へどのように取り入れるかをテーマに、村上先生の豊富な経験に基づく有意義な意見交換が行われ、参加者にとって学びの多い時間となりました。(肩関節治療センター 理学療法士 御子柴和也)